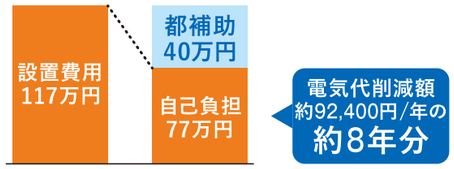
活用しよう支援制度

❶太陽光パネル

新築住宅：1kW あたり10万円

※3.6kW 以下の太陽光パネルの場合
1kWあたり12万円（上限36万円）

4kWの太陽光パネルを新築戸建住宅に設置した場合の例



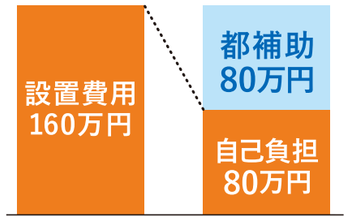
9年目からは電気代削減額の累計が初期費用を上回ります
※東京都区部、2人以上の世帯の場合を想定して試算（令和7年10月時点）したものであり、今後の状況等で変動する可能性があります。

◎機能性太陽光パネル※設置への上乗せ補助実施
※通常の太陽光パネルを設置できない住宅にも設置可能な軽量・小型太陽光パネルなど

❷蓄電池設置

1kWhあたり10万円
（DR実証に参加しない場合、上限120万円）

8kWhの蓄電池を設置した場合の例



❸集合住宅向けの支援

◎太陽光発電設置に要する架台や屋上防水工事費用を支援
◎再エネ100％電力等の導入を促進するため、高圧一括受電への切替に伴う受変電設備設置の費用を支援

❹リース等を活用した初期費用ゼロサービスへの支援

リースなど、初期費用をかけずに太陽光パネル等を設置するサービスへの助成により、サービス利用料の低減などを通じて住宅所有者に還元する支援も行っています。

支援制度には一定の要件等があります。
支援制度の詳細や、最新の情報は下記のワンストップ相談窓口にお問い合わせいただくか、クール・ネット東京HPをご覧ください。

東京都　HTT 努力をへらす つくる ためる Tokyo.Tokyo

リサイクル適性Ⓐ
この印刷物は、印刷用の紙へリサイクルできます。
石油系溶剤を含まないインキを使用しています。

クール・ネット東京
東京都地球温暖化防止活動推進センター

本件に関するご質問ご相談は、下記ワンストップ相談窓口まで。
ワンストップ相談窓口 / 03-5990-5236
受付時間：平日午前９時～午後５時

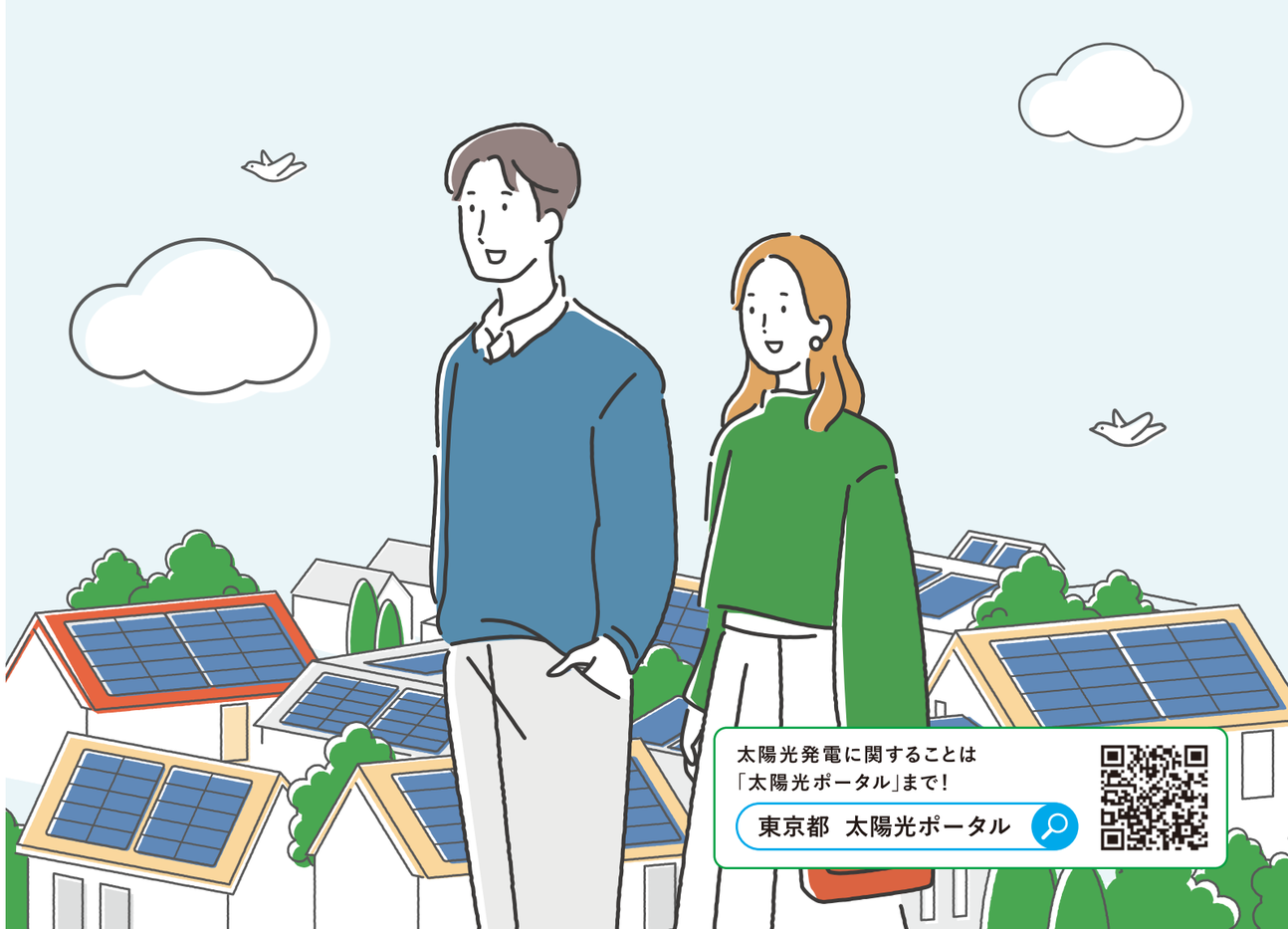
令和8年4月発行

東京都
クール・ネット東京
東京都地球温暖化防止活動推進センター

令和7年4月開始

東京都からのお知らせ

新築住宅向け太陽光発電、断熱・省エネ性能に関する制度



太陽光発電で、地球と家庭にやさしい暮らしを。

東京都
クール・ネット東京
東京都地球温暖化防止活動推進センター

どんな制度なの？

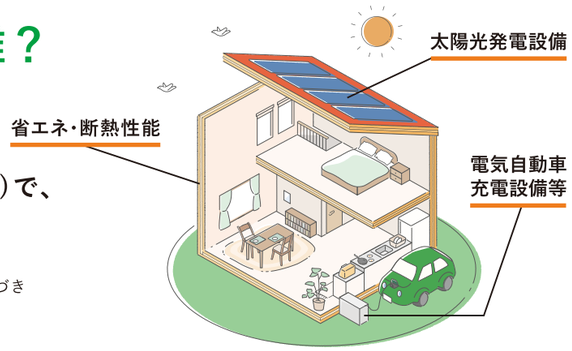
東京都は、2030年までに温室効果ガス排出量を50％削減するカーボンハーフを目指した取組を進めています。こうした背景のもと、令和7年4月から新築住宅等への太陽光発電設備の設置や断熱・省エネ性能の確保等を義務付ける制度（建築物環境報告書制度）を開始しています。

太陽光パネルの設置義務者は誰？

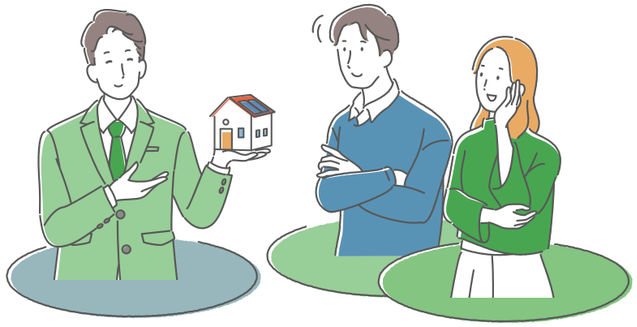
- □ 都内年間供給延床面積が20,000 ㎡以上の大手住宅供給事業者等（※1）が対象です。
- □ 延床面積 2,000 ㎡未満の新築建築物が対象（※2）で、既存の物件は対象外です。

※1 この他に、申請を行い知事から承認を受けた事業者も制度に参加できます。

※2 本制度における太陽光パネル設置義務量は、事業者ごとに一定の算定式に基づき設定される仕組みとなっているため、必ずしも全ての新築建築物に太陽光パネルの設置を求めるものではありません。



施主・購入者等に求められることは？



事業者には、施主・購入者に対して環境性能について説明する義務があります。
事業者から説明を聞いた上で、住宅の注文・購入等をご判断ください。

注文住宅の施主

事業者からの説明を聞いた上で、建物の環境配慮について必要な措置を講じ、環境への負担を減らすよう努めてください。

建売分譲住宅の購入者等

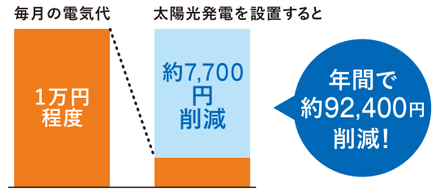
事業者からの説明を聞き、建物の環境配慮について理解を深め、環境への負担を減らすよう努めてください。

環境性能の高い家のメリットって？

❶経済性

太陽光発電や省エネルギー化により、電気代・ガス代を削減できます。

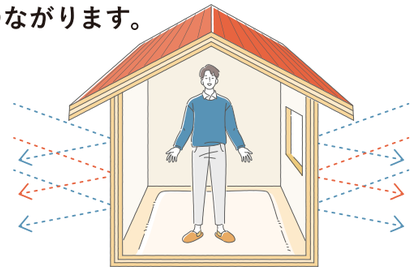
新築戸建住宅に4kWの太陽光パネルを設置した場合
※東京都区部、2人以上の世帯の場合を想定して試算（令和7年10月時点）したものであり、今後の状況等で変動する可能性があります。



月々約7,700円、年間では約92,400円の電気代が削減できます

❷健康的な暮らし

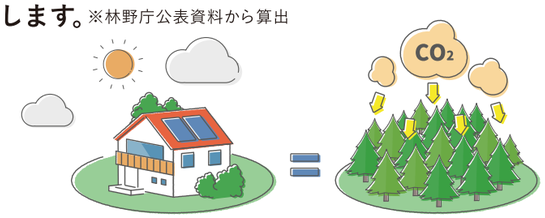
断熱化によって快適な室温が維持されることで、部屋間の温度差も小さくなり、ヒートショックの抑制につながります。



❸環境

CO_2排出量の削減に貢献

4kWの太陽光パネルで1年間発電した場合のCO_2削減量は、スギ約200本分の吸収量に相当します。※林野庁公表資料から算出



❹防災

停電への備え

太陽光発電を設置することで、停電時にも電気が使えます（自立運転モード利用時）。また蓄電池と組み合わせることで夜間も電気が使用できることとなり、防災力をさらに高められます。

太陽光発電のクエスチョン

太陽光パネル設置にまつわる疑問にお答えします！

より詳しい内容は「太陽光ポータル」をご覧ください。

Q 太陽光パネルを設置した後はどんなメンテナンスが必要なの？

一般的な住宅地では
定期的に屋根に登って掃除をする必要はほとんどありません。

発電量を日常的に確認することをおすすめします。
詳しくは販売店・工務店・メーカー等にお問い合わせください。

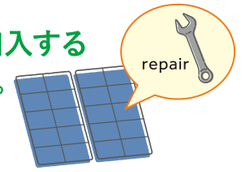
Q 自然災害で太陽光パネルが破損した場合、火災保険の対象になるの？

新築住宅の屋根に設置した太陽光パネルは、一般的に
火災保険（建物）の補償対象として含まれます。

Q 新築時に設置した太陽光パネルに施工不良があり住宅の修理等が必要となった場合、修理費用の負担は？

修理費用は事業者が加入する保険等から賄われます。

新築から 10 年間、住宅の構造と防水の欠陥に関する修理等が必要になった場合、住宅供給事業者が修理を行います。



Q 太陽光パネルはリサイクルもできるの？

リサイクルが可能です。

将来の大量廃棄を見込み、首都圏において、様々なリサイクル施設が稼働し、事業用太陽光発電設備の処理が既に行われています。